乾杯：二揚

二揚

かたーいきずなに　おもいを　よせて　かたりつくせぬ　せいしゅんのひび　ときに

四	四	上中工	中工老	○	上	上中工	工	六	六	六	六、七

は　きずつき　ときには　よろこび　かたをたたきあった　あのひ

五	五	五	五、六工	工	工	六、七五	五	五	上工工	合	工	○

あれからどれくらい　たったのだろう　しずむゆうひを　いくつかぞえたろう　ふるさ

四	四	四	上中工	中工老	○	上	上	上	工	六	六六六	六

との　とも　は　いまでも　きみの　こころの　なかに　いますか　かん

五	五	五	五	六	工	上	六	五	五	五四上工	合	工	老下老

ぱい　いまー　きみは　じん　せい　のおおきなーおおきなーぶたいに　たち　はる

四	○四上	乙下老	下老	工	工五六	六六七	五工五	中	四	老下老

かながいみちのりをあるきはじめたきみにしあわせあれ

四	四	四老乙合下老	下老工	工	工五六	四	五	四五工	合	工	○

六四	四六五四	四	六	八	六	五	五	工			